

「地域猫」の活動をされている団体に伺いました



播磨町や加古川市で地域のノラねこを減らすためのTNR+C活動をしているNPO法人KATZOC（カゾック）地域ねこ部の堀部さん、湊さん、大杉さん、藤本さんにお話を伺いました。

KATZOC（カゾック）は、日本の家族をもじった名前で、ドイツ語で「猫」の意味を持つNPO法人です。動物の適正飼育と動物愛護（TNR+C）を通じて地域貢献に寄与することを目的とした団体です。



不妊手術後、印として耳にV字カットを入れます。その形がさくらの花びらに見えることから「桜ねこ」と呼ばれています。

不妊手術後の猫はどのように見分けるのですか。

地域の情報を得て、場所を特定し、捕獲器を仕掛けます。少人数の活動なので、捕獲まで日数を要することもあります。

野良猫はどのように捕獲しているのですか。

「野良猫を増やさない」とは、どういう活動ですか。増えすぎた野良猫の不妊手術をすることで、糞尿の被害が減少し、さかり鳴き声もなくなり子猫を産まなくなるので、自然に野良猫を減らす活動です。

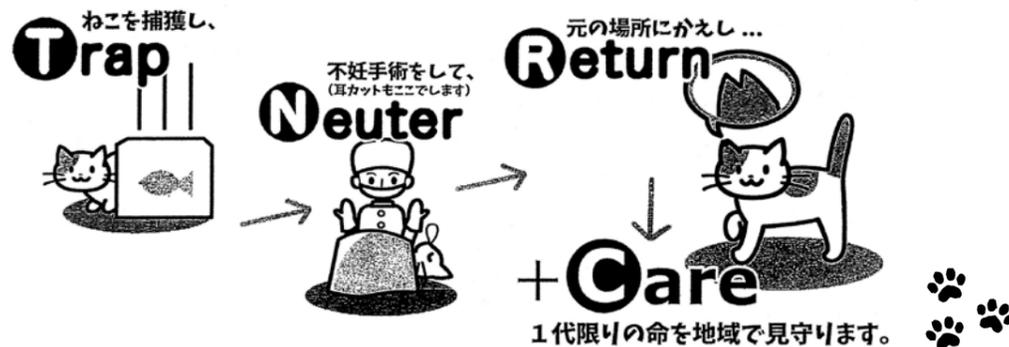
「さくらねこ」への取り組みは。

兵庫県に本部がある公益財団法人「どうぶつ基金」が野良猫の殺処分を減らすために、全国の動物病院などと連携し行っています。不妊手術に要する費用は、基金が助成金を出し、多くの病院では野良猫の手術代は無料になっています。基金は全て寄附で賄われています。「どうぶつ基金」によると、手術後の野良猫は、この14年間で10万匹ほどになり、協力する病院も年々増加しています。



▲KATZOC（カゾック）地域ねこ部の皆さん

※TNR+C活動とは



最後に一言

このような団体があることを広く知ってもらい、地域の理解と協力のもと活動していきたい。猫の譲渡会などにもご協力をお願いします。

今後の課題は。

殺処分される不幸な命をなくすための、野良猫の不妊活動を皆さんに知っていただきたい。

議会と語るう会

今回は二子北シニアクラブの要請を受けて、「高齢化社会への対応を考える」をテーマに話し合いの場を設けました。二子北シニアクラブが、独自で実施している健康ポイントに取り組んでいる活動の紹介がありました。地元シニアの方からは、導入して3年目になり、浸透してきているので、仕組みが広がればいいなどの意見がありました。参加いただいた皆さん、誠にありがとうございました。報告書は議会ホームページに掲載しています。

- 皆さんからの質疑
 - Q 子ども会の組織弱体化によって子ども会が解散している現状がある。議会として、どう考えているのか。
 - A 議員同士では話をしているが、議会として具体的には動いていない。地域として繋がりを大切にして協力し合って活動してほしい。
 - Q 空き家が増えてきて、住環境の悪化が問題になっている。
 - A 空き家になることがわかっていれば、連絡先などを聞いておくのも有効と考える。
 - Q 通学路に側溝が深い箇所があり、危険と感じる。危険箇所のチェックを町がしてほしい。
 - A 深い側溝には柵があるが、1メートル未満の側溝には反射板付きのポールを立てるなどの対応をしている。(終了後、場所の状況確認を行いご本人に伝えました。)
- その他ご意見
 - 町から、アンケートが送られてくるが、項目が多すぎて難しい。もっと簡単にしてほしい。



▲地区を越えての参加もありました

議会報告会のご案内

議会と身近な課題について語り合う機会として、各会場に7名の議員が伺い、「議会報告会」を下記の日時に開催します。この「議会報告会」では、日ごろの議会活動の報告も行う予定です。

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場にお越しください。

令和元年 11月8日(金) 午後7時～8時30分	野添コミセン(1班) 西部コミセン(2班)
令和元年 11月9日(土) 午後7時～8時30分	南部コミセン(1班) 東部コミセン(2班)

◎班構成 【1班】 神吉議長 木村議員 香田議員 野北議員 藤田議員 藤原議員 松下議員
【2班】 岡田副議長 大北議員 大瀧議員 奥田議員 河野議員 松岡議員 宮宅議員